

「熊本市江津湖地域における在来種（魚）の保護活動」

2020・4月～2021・3月 一年間の報告書

はじめに、当NPO法人は、平成29年4月1日から令和2年3月31日の3年度に渡り『独立行政法人・環境再生保全機構 地域環境基金の（つづける助成）』を受け、関係団体・個人等のご支援・ご協力を賜り標記の活動に取り組み、概ね所期の目的を果たすことができた。

この活動は、江津湖はもとより周辺流域河川に生育する外来種を捕獲、駆除することを目的としている。一旦、活動を停止すると外来種が再び繁殖し、生態系を脅かす結果となる。故に、当法人としては外来種捕獲場所の制約（熊本市魚協の同意が依然として得難く）財政的並びに人的支援に加えてコロナ禍での課題はあるものの、できる範囲内で4年度の活動に取り組んだ。以下はその活動報告である。

2020・6・28 開催の定期総会（当NPO法人）の議案書より抜粋
江津湖地域在来種保護活動（外来魚捕獲）について

本年度は（独）環境再生保全機構からの助成を受けずに、規模を縮小し、年1～2回の江津湖に流域の小河川での外来魚捕獲活動に過去のボランティアにご協力戴いた団体、学校、法人、個人に働きかけ実施します。

座談に関してはご協力の皆様を対象に、年1～2回程度開催する。イベントに関しては外魚のつり大会方式で、活動の趣旨と活動の輪を広げたいと思います。具体的には理事会で検討して参ります。尚、公益財団法人再春館「一本の木財団」の下期助成事業に参し込んでみたい。→「一本の木財団より令和2年9月30日付で助成金交付決定通知書を受理。

勉強会・セミナー・イベントに関しては、コロナ禍のため、全て中止せざるを得なかつた。

【つり大会の内容】(2020.11.8)

◎今回の外来種捕獲は、コロナ禍の三密を避けるため、従来の仕切り網方式（上下流に張り網をして、その間の魚をタモ網・サデ網で採る）ではなく、ソーシャルディスタンスを取り「つり大会」方式に変更し、実施した。参加者募集は昼食には永年に渡り、災害支援ボランティアにご奮闘の「NPO 法人ボランティア仲間九州ラーメン党」の皆様による「三種類のラーメン」が振舞われ、参加者全員が舌鼓しご満悦でした。

当釣り大会は、大物賞、重量賞、珍釣賞と参加賞を設け競い合っていただいた。
つり大会ということもあり、若い親子の来場者が目立ち、当 NPO 法人の外来魚捕獲の駆除の活動をあらたに広めることができた。但し、当初予定していた外来魚の試食会（天婦羅）がコロナ禍で出来なかつたことが残念である。仕切り網方式からつり大会に変更になったため、外来魚の捕獲数が前年度を下回ったが、当法人の活動主旨は理解戴き、楽しい有意義なイベントであったとの好評を、多くの参加者から戴いたことは、大きな釣り果であった。

日時………2020年（令和2年）11月8日（日）10：00～12：00

場所………熊本市東区画図町下無田大井手川水門付近
(ハンズマン画図店駐車場東側)

参加人数…46名（全員に1日傷害保険を加入）

参加費……一人200円（昼食のラーメン代を含む）

天気………晴れ時々曇り 外気温 22℃ 水深約 70cm～80cm

捕獲高……38匹 魚種→ティラピア、ワダカ、フナ、ハゼ、コイの5種類

予算………40万 半額を再春館の「一本の木財団」に申請し決定

令和2年度くまもとC生物多様性シンポジウム報告書

日 時 令和3年2月20日 13:00~16:00
場 所 熊本市役所14階ホール
主 催 者 熊本市環境局 環境推進部 環境共生課
報 告 書 馬場 厚
参 加 者 数 18名 オンラインによる参加者 35名
講 師 及 び 市 職 員 数 6名
特定非営利活動法人くまもとライフポート会場参加者 馬場 厚、坂上 彩
エントリイカしまにて、オンライン参加者
太田良三、伊藤七海、本田光夫 合計5名

*今回のくまもとC生物多様性シンポジウムは、新型コロナウイルス拡大により
オンライン導入によるシンポジウムとなりました。
オンラインによる参加者は35名ほどになりました。

*主催者挨拶 吉田香織 環境共生課 課長

1： 基調講演

国立研究開発法人 森林総合研究所 研究員 安田雅俊氏

哺乳類の外来種について

大まかに言えば、明治以降に入ってきた生物を外来種という。

熊本の特定外来生物

① クリハラリス（タイワンリス）

以前、宇土半島を中心に5, 6,000頭いたのが

2021年は根絶に近い状況になっている。

クリハラリスバスターなどの活躍による。

② アライグマ（アライグマ科）

特徴：しま模様のしっぽ

熊本においては2006年から2020年まで61頭捕獲。

九州北部においては年間1000頭近く捕獲されている。

本県におけるアライグマの生息確認数は2010年から

2021年で174頭確認されている。

アライグマは繁殖力も強く環境にも悪影響を及ぼすので

根絶に向けての対策が急がれる。

ちなみに、アナグマは在来種とされている。

2：活動報告

1： 熊本県シェアリングネイチャー協会

ネイチャーゲームリーダー 小嶺 仁氏

シェアリングネイチャーとは五感による自然との関わり方

2： 熊本北高等学校

ヤマトシジミの生息調査報告（オンライン）

3： NPO法人コロボックル・プロジェクトの活動報告

その後、参加者の A、B、C グループに分かれたディスカッション
生物多様性とは何ぞや、と質問をしてそれを知っている人はまだ少なく
結果、全体の 16 パーセントしかいない。

これを引き上げて多くの人に知らしめるためには

どうしたらしいか？

が、今後の課題でもある。

生物多様性という言葉自体が難しいと感じさせるのではないか？

生物多様性という言葉は世界的な認知表現である為、その言葉の
意味を知って広げることが大事！

総評：オンラインによるシンポジウムでしたが、皆さん慣れて
ないせいか、上手く出来なかった様に思いました。

外来生物は動物、植物その他全ての生きものに関係しており
悪影響及ぼすもの、そうでないもの色々いるが、根絶しなけ
ればならないものは根絶する。しかしながら生物の共存共栄
こそが地球規模での大きな課題であることには間違いない。

参考まで

* 生物多様性とは、「生き物たちの豊かな個性とのつながりのこと」地球上には
3,000万種ともいわれる多様な生き物が存在します。これらの生命は一つひとつ
に個性があり、全て直接的に間接的に支えあって生きています。

生物多様性条約では、①生態系の多様性②種の多様性③遺伝子の多様性という
3つのレベルで多様性があるとしています。

①は、森林、里地、里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁などいろいろなタイプの
自然があります。

②は、動植物から細菌などの微生物にわたるまでいろいろな生き物があります。

③は、同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様、生態などに多様な
個性があります。

* 外来生物法とは、「特定外来生物による生態系等に係る被害防止に関する法律」
のこと。

資料はA3サイズです。

釣り大会 開催!!

開催日時：2020年11月8日（日）

10:00～12:00（雨天延期）

場所：大井手川（ハンズマン画図店P東側）

募集定員：30名

申込締切：2020年11月4日（水）

参加費：1人200円（昼食ラーメン付き）

※釣り具・エサ等はご持参ください

PはハンズマンP東側をご利用ください

豪華賞品をゲットしよう！！

大物賞・重量賞・珍釣賞あり

（必ず参加賞も貰えます）

事前申し込みが必要です

下記の電話番号かメールにてお申し込みください

（・申込時、フルネーム（カタカナ）・年齢の記入をお願いします

・募集定員に達した時点で〆切らせていただく場合もあります）

ま
挑
戦
者
募
集
中
ム



☆..:*.☆問い合わせ・申し込み先*☆..:*.☆

NPO法人くまもとライフボート

熊本県上益城郡嘉島町井寺2973

TEL:096-235-6229

メール:entry_kashima@yahoo.co.jp

この釣り大会は公益財団法人 再春館「一本の木」財団の助成を受けて開催します

外来魚捕獲(つり大会)の様子・風景

2-1

2020.11.8





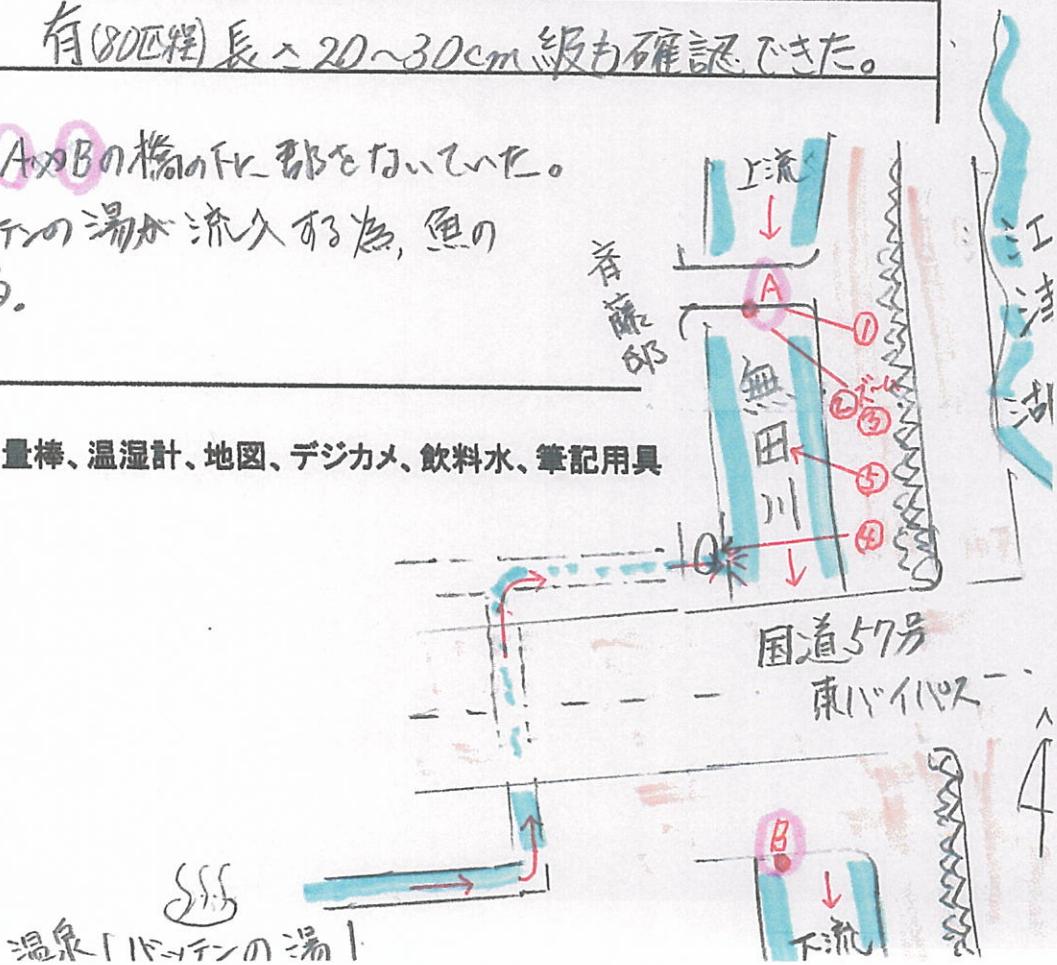
大井川



河川調査表

調査目的	在来種(魚)保護の為の外来魚の捕獲と河川浄化の為の清掃		
日 時	令3年2月4日(木)	午前 時 分 ~ 時 分	
		午後 / 時 00分 ~ / 時 15分	
場所(住所)	江津湖着蔵橋下の無田川 A		
主 催 者	NPO法人くまもとライフボート	協力者	
調査員名	太田良三、辛木照夫、本田光夫の3役員		
天 気	<もり (記入者)		
外 気 温	10°C		
水 温	13°C	A地図	15°C バーテンの湯が入ってくる
水 深	35cm 川幅 7.8m		45cm 地図 沈水温が少し高い
湿 度			
水の透明度とスピード	川底まで目視できた。流れはほとんどない。		
魚等の有無	有(8匹程)長さ20~30cm級を確認できた。		
(備考欄)	外来魚の多くは、AとBの橋の間に多くなっていた。 この流域はバーテンの湯が流入する為、魚の 住みに適している。		

備品……水温計、水深測量棒、温湿度計、地図、デジカメ、飲料水、筆記用具



河川調査地 3ヶ所
(A,B,C)



河川調査(令3.2.4) 江津湖斎藤橋下の無用川

